

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

共生～仲間とともに高め合える人～

- 自ら課題を解決し、学んだことを活用する力を育てます。(知)
○自ら進んで考え、判断し、主体的に発信・行動する力を育てます。(体・開)
○多様な価値観を認め、尊重し、他者と協働して社会を創る力を育てます。(徳・公)

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

- 気づき、考える力
○先を見据えて行動する力
○発信する力・伝え合う力

具体化した資質・能力

学びと生活を結びつける力
自己調整能力
思いを言葉にする力

中期取組目標

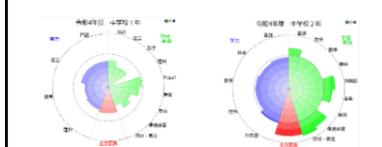
- ・習得した知識を自らの生活に結びつけ、活用する機会を設けます。
・生徒が自己を振り返り、課題を見つけ、それを改善できるような学習活動を展開していきます。
・多様な意見を受け入れながら、自らの考えを広げ、発信できる力を育てます。
・生徒一人ひとりが自分らしさを発揮し、互いに尊重できる態度を育みます。

学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (授業改善) and 具体的取組 (1.生徒が学習の見通しをもち、主体的に自己の課題解決に取り組めるよう学習プランを見直し、工夫を行うなどの授業改善を図る。 2.学びのつながりを総合的な学習の時間に生かすとともに、各教科の学びの深化や探求につなげ、発信する機会を設定する。)

学力向上に関わる本校の状況

(1)学力に関わる生徒の実態
○横浜市学力学習調査から、1年生の学習意識が教科によって偏りが見られる。特に1年理科は学習意識が低いので、意識を高めるための授業改善が必要である。
○横浜市学力学習調査から、2年生は全体的に学習意識は横浜市の平均かそれ以上である。しかし、学力は外国語以外は横浜市の平均以下という実態がある。
学習意識が学力とうまく結びつくような授業改善が必要である。
○フォーサイト手帳の振り返りから、学習習慣が身につく、学習時間が増えてきている。
○フォーサイト手帳の振り返りから、主体性・能動性に対する意識の向上の変化が少しずつ見受けられる。



(2)これまでの学校の取組
○フォーサイト手帳を導入し、毎日の学習の予定やテスト前の学習計画の記入を行った。
○各教科、単元の始まりで学習プランを配付し、各自が見通しをもって授業に取り組めるようにした。
○総合学習では3年間を通して、SDGs(持続可能な開発目標)について理解を深め、「何が自分ができるのか」という視点で学習を進めた。

今年度の目標

- ①効果的な学習プランの活用と推進
②自己存在感の感受を促進する授業づくり
③各教科、生徒が主体的に発信する機会の意図的な設定

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 rows: 上半期 (Short-term plan for the first half) and 下半期 (Short-term plan for the second half).

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (豊かな心) and 具体的取組 (1.誰もが安心して学校生活を過ごし、一人ひとりの個性を認め合える学校づくりを行う。 2.学校教育全体で道徳教育を充実させ、相手の思いを聴き、自分の思いを伝えることができる生徒を育てる。 3.YPアセスメントの効果的な活用を進め、学級経営と授業力向上を図る。)

豊かな心に関わる本校の状況

(1)豊かな心に関わる生徒の実態
○ボランティア活動に積極的に参加するなど、「誰かの役に立つ人になりたい」という意識が高く、自己肯定感も高いため、学校生活や家庭生活において豊かに生活できている。



(2)これまでの学校の取組
○グループ活動等で互いに学び合える場面を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力を高めると同時に、対話的な深い学びの実現に努めた。
○自分のよさに気付くことのできる授業や活動を展開し、生徒一人ひとりの自己肯定感を高める工夫をした。

今年度の目標

- ①自分自身をかけがえない存在として感じられる教育活動を展開する。
②他者の気持ちや立場を尊重し、差別や偏見を許さない人権感覚・人権意識を養う。
③多様な人々が共に生きる社会の一員として、様々な課題を解決しようとする態度を育てる。

目標を実現するための具体的行動プラン

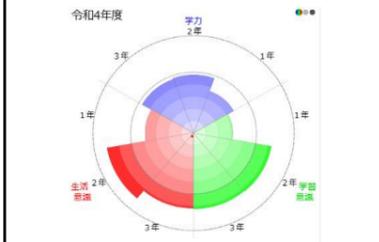
Table with 2 rows: 上半期 (Upper semester plan) and 下半期 (Lower semester plan).

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (健康・安全教育) and 具体的取組 (1.個々の生活を振り返るとともに、健康で安全な生活や健全な食生活について理解を深め、解決に向けて思考し判断したり、他者と意見を共有したりすることで課題解決に向けての実践力を育てる。 2.授業・体育的行事を通して、豊かなスポーツライフに向けた実践力を身につける。)

健やかな体に関わる本校の状況

(1)健やかな体に関わる生徒の実態
○横浜市学力学習調査では「朝ごはんを毎日食べている」生徒の割合が3年84%、2年80%、1年70%と昨年度と比較し低下している。
○横浜市学力学習調査では睡眠時間が「7時間以上8時間未満」の生徒が多いが、学年が上がるにつれて睡眠時間が減少している。
○健康診断では、「むし歯の疑い」が48%と高い状況である。
○体を動かすこと(運動することは)好きと答えている生徒は全学年とも80%を超えており高い。



(2)これまでの学校の取組
○保健体育科では、体力つりの一環として、授業前に補強運動を毎回行い、体力向上に取り組んでいる。
○健康診断の歯科検診の結果を保健だよりでお知らせし、学校全体で歯科保健について取り組んできた。
○食育では保健委員による「バクバクだより」の紹介を行った。

今年度の目標

- ①豊かなスポーツライフの実現に向け、自己の生活を振り返り、健康的な生活を送るために自ら進んで運動に取り組む態度を育成する。
②生徒が自身の食生活について考え、バランスのよい食生活を実践できるように育成する。
③避難訓練を核とした安全教育の推進を図る。

目標を実現するための具体的行動プラン

Table with 2 rows: 上半期 (Upper semester plan) and 下半期 (Lower semester plan).